No.142
NAGANO PREFECTURAL KISO HOSPITAL
病院だより
回　覧
令和７年６月12日
発行：長野県立木曽病院
編集：広　報　委　員　会
住所：木曽町福島6613-4
電話：0264-22-2703

令和7年度を迎え、ご挨拶を申し上げます。

木曽病院が属する地方独立行政法人長野県立病院機構は発足からこの４月で16年目を迎えました。設立団体である長野県から示された第４期中期目標（令和７年度～11年度）では当院が担うべき医療等の提供について、「木曽地域唯一の入院機能を持つ医療機関として、へき地における急性期機能の維持と回復期・慢性期機能を充実させるとともに、地域の医療ニーズに適応した外来・在宅医療を提供すること」となっています。

一方、昨年12月には高齢化と人口減少がさらに進む2040年とその先を見据えた「新たな地域医療構想に関するとりまとめ」が厚生労働省から公表され、入院だけではなく外来医療や在宅医療を含めた医療提供体制が必要であり、医療機関機能は新たに次の４つ（①高齢者救急・地域急性期機能　②在宅医療等連携機能　③急性期拠点機能　④専門等機能）に集約されました。中期目標にもあるように、当院の担うべき機能は、今後も「高齢者救急・地域急性期機能」「在宅医療等連携機能」の２つであると考えております。

令和７年２月木曽医療圏地域医療構想調整会議で、令和８年度から当院における分娩体制の維持が困難になることを報告しました。その後、長野県、木曽広域連合、当院の主催で住民説明会も開催させていただきました。多くの皆さんにご出席いただき、貴重なご意見等を賜りましたことを、厚く御礼申し上げます。分娩医療機関としての使命は安心安全な分娩体制を提供することであります。しかし、大変残念ながら令和８年度以降はその体制を維持できないことから、苦渋の決断をさせていただいたという次第でございます。引き続き、当院でも妊婦健診の継続、産後ケアの拡充を実施していきますので、皆様のご理解をいただければと思います。

木曽郡の住民基本台帳人口は令和７年１月には24,000人を下回り、65歳以上の高齢化率は44%を超えています。人口減少と高齢化は今後も確実に進んでまいります。これまでも当院の医療提供体制は段階的に縮小を余儀なくされてきました。2005年からは脳神経外科医師、2016年からは循環器内科医師が非常勤体制となりました。また、現在は脳神経内科の体制により急性期の脳疾患の入院を受け入れられない状況です。広大な面積を有する木曽郡唯一の有床医療機関として、人材も含め限られた医療資源のもとで、当院が今後も担っていくべき医療機能は何かを真剣に模索していくべき段階にあると考えております。

木曽圏域の救急医療体制について改めて紹介します。入院治療を必要とする休日・夜間の救急患者に対する「二次救急医療」は病院群輪番制として当院が常に担っています。また、平日夜間の「初期救急医療」も救急告示医療機関として当院が担当しております。救急外来の適正利用についてはこれまでも住民の皆さんに繰り返しご理解いただくようにお伝えしてまいりましたが、残念ながら、日中は仕事があるので時間外に受診するなど、適正とは言い難い方の受診は減少していない状況です。一昨年の病院だよりNo.135（ホームページにて掲載）や木曽保健福祉事務所作成の「救急医療リーフレット」などももう一度ご確認いただき、住民の皆さんには、木曽圏域の限られた医療資源について一層のご理解をいただきますようお願い申し上げます。

圏域に唯一の有床医療機関として、引き続き、当院では住民の皆さんにより一層安心していただける医療と介護の提供を継続できるように、職員一同取り組んでいく所存ですので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

長野県立木曽病院　院長　濱野　英明

No.18 きそっぴい講座

「木曽病院」で健診（検診）や人間ドックを受けるってかなり大事です！

医療技術部長　診療放射線技師　青木 宏志

はじめに

毎回いろいろな部署の職員がここに投稿し、様々な視点で健康や医療について発信しています。今回は私より表題のとおり「木曽病院」で健診（検診）や人間ドックを受ける意義について少しお話しさせていただきます。

木曽病院での健診（検診）者の数

木曽病院では各種健診や人間ドックを受け付けており、年間で一般健診600人以上、人間ドック600人以上、生活習慣病予防健診800人以上、各種がん検診では600人以上、その他の健診で100人以上と多くの木曽地域の皆様にご利用いただいております。

各健診（検診）のメリット

一般的な健康診断は公衆衛生を目的とし学校や職場などで基本的な健康状態を把握するためのスクリーニング検査として広く実施されています。

生活習慣病予防健診は35歳以上の方を対象に糖尿病、高血圧、脂質異常症等の発症を予防し、健康的な生活を送るための第一歩となります。

人間ドックは全身を総合的にチェックするため、自覚症状のない初期の病気や、複数の病気を同時に発見できる可能性があります。また、様々ながんに対するオプション検査や各種画像検査も追加でき、病気の早期発見、早期治療に役立ちます。

木曽病院の診療体制今昔

話は変わりますが、時代とともに木曽病院の診療体制にも変化があります。例えば脳神経外科や循環器内科の常勤医師が不在となり、これらの医師の診療が必要な救急患者は近隣の医療機関と連携して診療しています。十数年前は木曽病院で完結できた症例も現在では様々な要因から、近隣医療機関との密接な連携が欠かせません。

木曽病院に自分のデータを残すメリット

心臓の病気なら心電図や心臓超音波、脳の病気なら頭部MRIと木曽病院では心筋梗塞や脳卒中に対応する検診も受けられますし、血液検査や細胞診、マンモグラフィで自分が気になるがん検診が受診できます。現在各データはデジタルデータで半永久的に保存されていて、定期的な健診（検診）で健康状態の推移が確認できます。また、これらのデータは突発的な病気の時にも比較データとして重要です。万が一に備えて木曽病院にご自身のデータを残すことは早期発見、早期治療に大いにメリットがあるでしょう。

耳より情報

新設の婦人科MRI検診の勧め!!

ここからのお話は、木曽病院のほぼオリジナル検診についてです。実は今年夏頃より婦人科MRI検診を新たに開始する予定です。その内容もかなり充実させました。この検診のポイントですが、

❶子宮や卵巣の隠れた病気の早期発見に効果的
❷県内では唯一木曽病院のみです
❸磁気を使った検査なので被ばくの心配なし
❹当院のマンモグラフィと同程度の費用負担
❺６種類の画像で詳しく検査します
❻検査は音楽を聴きながら15分寝ているだけ
❼放射線科と婦人科ドクターのダブルチェック
❽画像データCDとレポートをセットで返却

といった❽つになります。

生涯で何らかの婦人科系の疾患にかかる割合は良性も含め50%とも80%ともいわれています。

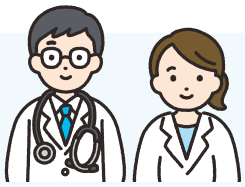
婦人科疾患が気になる方は今すぐに、健康な方も不透明な将来に備えて現在のデータを残しておきましょう。いずれにしても充実した内容の検診です。この記事を読んだ方は何かのご縁があるのかも知れませんね。ご自身の健康状態を新たな方法で確認できる良い機会ですので、木曽病院にぜひ予約の電話をお勧めします。

TEL：0264-22-2703（代表）
婦人科 MRI 検診希望と伝えてください。

今回は健診（検診）のお話をしましたが、年齢や性別でその内容も変わります。ご自身にあった項目、内容、頻度を選択していただき、効率よく健診（検診）を受けてください。木曽地域の健康を支える私たち職員が心よりお待ちしています。

新任医師の紹介

よろしくお願いします



堀内（ほりうち）　一太郎（いちたろう） 医師（内科）

信州大学から参りました。出身は松本市で母方の親戚が奈良井にいましたので、木曽に遊びに来たこともあります。専門は消化器の胆膵領域です。木曽地域の皆さまの健康を守りたいと思います。よろしくお願いいたします。

木村（きむら）　颯汰（そうた） 医師（内科）

内科に赴任しました、木村颯汰と申します。昨年度は信州上田医療センターで勤務しておりました。出身は東京都ですが、祖母が上松町出身で何かと縁を感じております。木曽地域の医療に貢献できるように精進いたしますので、何卒宜しくお願いいたします。

鵜飼（うかい）　隆（たかし） 医師（内科）

４月より内科に赴任しました。木曽病院にいらっしゃる患者さんのお力になれるよう、丁寧な診療が出来ればと思っております。よろしくお願いいたします。

安宅（あたぎ）　拓磨（たくま） 医師（内科）

内科に赴任しました、安宅拓磨と申します。患者様・御家族様他、地域の皆さまと協力し、できるだけご本人の本意に沿った医療を一緒に実施できればと思います。よろしくお願いいたします。

小松（こまつ）　大介（だいすけ） 医師（外科）

本年度より木曽病院外科に赴任いたしました小松大介と申します。専門は一般外科全般となります。木曽地域の皆様の健康を守るべく尽力してまいります。お気軽にご相談ください。よろしくお願いいたします。

杉山（すぎやま）　結理佳（ゆりか） 医師（産婦人科）

４月より産婦人科に赴任しました、杉山結理佳と申します。木曽地域の皆様のお役に立てるよう尽力してまいります。よろしくお願いいたします。

第35回

みんなで知ろう、がん

副院長（外科）がん診療部長　小出　直彦

前回、抗がん剤治療を受ける上で注意しておかねばならない「抗がん剤により誘発される手足のしびれや痛みを主体とする末梢神経障害性疼痛」についてお話をしました。続きとして、どのような抗がん剤によって手足のしびれが出やすく、そしてしびれを抑えるためにはどうすれば良いのかについて考えてみたいと思います。

様々な抗がん剤で手足のしびれや痛みが起きます。特に症状が出やすいとされる抗がん剤はオキサリプラチンを代表とするプラチナ系抗がん剤とパクリタキセルを代表とするタキサン系抗がん剤が挙げられます。この２つの抗がん剤治療をうける患者さんの約８割の方に手足のしびれや痛みが発生すると言われています。オキサリプラチンは消化器系のがんでよく用いられる抗がん剤です。そしてパクリタキセルは肺がんや乳がん、婦人科のがんなどで用いられます。どのような抗がん剤でも副作用として手足のしびれや痛みは発生する可能性があるので、指先にしびれを感じたらスタッフへ教えてください。さらに、指先の細かな作業を仕事とする方は、治療開始の際の抗がん剤の選択にあたっては主治医やスタッフと仕事や作業内容を含めてよく相談をしましょう。

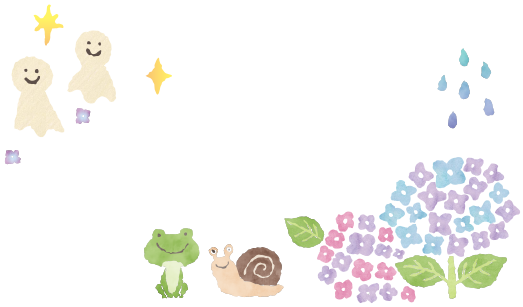
生活上の注意点として、抗がん剤治療を受けている患者さんは、冷気に注意しましょう。夏はしびれが和らぐことが多いのですが、クーラーを用いた冷え過ぎに注意。特に寒い冬には症状が悪くなることがしばしば見られます。このため冬には日々の生活の中で手袋をする、厚めの靴下を履く、冷たい水で手を洗わないなど手足の保温や刺激を避けるように気を配りましょう。また日頃から指先の細かな日常の作業、すなわちボタンを留めにくい、お箸が持ちにくいなど、そして歩くと指先や足の裏が痛いなどの症状に留意しましょう。

では、どのような治療を行うのでしょうか。しびれの症状が強い場合には、抗がん剤の減量や休薬を考慮します。しかし、がんの制御のためには抗がん剤治療は継続することが重要です。できれば、しびれを抑えるお薬で症状を緩和しながら抗がん剤治療を継続したいところです。このため日本では２種類の神経障害性疼痛治療薬が使用可能で、プレガバリン（商品名：リリカ）とミロガバリン（商品名：タリージェ）です。いずれも神経伝達のカルシウムチャンネルを遮断し神経の興奮を抑えて、痛みやしびれを緩和します。注意点として、服用開始に際してめまいや眠気を起こすために、お薬に体が慣れてくるまでの数日間は車の運転や日常生活での転倒に注意しなければなりません。多くの患者さんは、内服開始から数日で治まります。眠くなったときには、無理をせずに一休み、一休み。

ミロガバリンには口腔内崩壊錠（OD錠）があり、口に入れると唾液で溶けるため高齢者の方でも服用しやすいお薬で、当院でも多く使っています。なお、海外においては、ガバペンチン（商品名：ガバペン）とデュロケセチン（商品名：サインバルタ）が神経障害性疼痛に対してしばしば用いられています。しかし日本では神経障害性疼痛に対する保険適応が無く、しびれに対して直接使用できません。ガバペンはてんかんに対して用いられるお薬ですが、足のむずむずした症状に用いられることがあるお薬です。デュロケセチンは抗うつ薬で、糖尿病による神経障害の痛みには用いることが可能ですが抗がん剤による末梢神経障害性疼痛には用いることができません。しかし抗がん剤治療を受けている患者さんはしばしば治療や人生に不安を抱いて抑うつ的な状態の方が多く、補助的に用いることがあります。

化学療法によって誘発される末梢神経障害性疼痛は、抗がん剤の量を減らしたりお休みしたりしなければならないほど症状が悪くなることがあります。このような場合にはがん患者さんの生活の質QOLに重大な悪影響を及ぼすことがあります。したがって、日常生活の様子を患者さんや家族の方々、そして医療スタッフの皆で情報を共有することが大事です。診療に際しては、手足のしびれの状況を積極的に教えてください。そして手足のしびれや痛みなどは治療継続のために早くから治療を開始することが大事です。以前お話をしましたが、がん患者さんの身体や心の痛みは早い時期からの対応が大事なので緩和ケアの観点からも抗がん剤により誘発される末梢神経障害に対しても早くから対応したいと思い、実践しています。

次回から、がん診療の様々な場面で用いることの多い大事な診療用語についてお話をしたいと思います。初回は、がん患者さんの状況や状態を表す言葉であるQOL、PS、ADLなどについて一緒に見てみましょう。日頃、医師やスタッフが口にする単語の意味を知っておくと役に立ちます。



木曽病院からのお知らせ

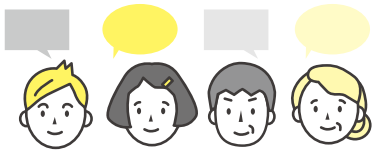
令和７年度　木曽病院モニターを募集します

当院では、地域の皆さんのご意見、ご要望を幅広くお聴きし、より良い病院としていくため、「木曽病院モニター」を募集します。

令和７年６月23日㈪までに申込書（HPにてダウンロード）にご記入の上、病院正面玄関入口にあります応募箱へ入れてください。（郵送、ファックス、同内容を記載した電子メールでも受け付けます。）

幅広い世代の方、お子様のいる女性や若い方のご意見もぜひお聞かせください。皆様のご応募をお待ちしております。

詳しくはこちらのHPをご確認ください。



HPはこちら▶

木曽病院広報に関するアンケート

日頃より当院広報誌をご覧いただきありがとうございます。

木曽病院では、患者さんの声を元に、より分かりやすい広報誌にしていきたいと考えております。

つきましては、更なる広報誌充実のため、右記QRコードより、アンケートのご回答にご協力いただきますようお願いいたします。

外来診療担当医師

（令和７年６月１日現在）

診療科	月	火	水	木	金
内科（◎新患担当） 1	◎ 信 大	◎ 鵜 飼	◎ 信 大	◎ 木 村	◎ 信 大
内科（◎新患担当） 3	安 宅	木 村	鵜 飼	鵜 飼	安 宅
内科（◎新患担当） 4	小 泉	小 泉	木 村	小 泉	堀 内
内科（◎新患担当） 5		堀 内		北 川	
【午後の予約制】		禁煙外来／小泉			
循環器内科【予約制】	原 田	伊那中央（診察 9：00～）	伊那中央（診察 9：00～）	原 田	伊那中央（診察 9：00～）
呼吸器内科【完全予約制】	信 大（診察 13：00～）	久 保（診察 第2.4 13：30～）			
腎臓内科【予約制】	小 林（信）（診察 11：00～）			小 林（信）【午後の予約制】	
肝臓内科【午後の予約制】					信 大（診察 14：00～）
糖尿病内分泌代謝内科【予約制】			信 大（診察 9：30～）		信 大（診察 9：30～）
血液内科【予約制】			信 大（診察 9：00～）		
脳神経内科【予約制】	井 上（敦）	井 上（敦）伊那中央（診察9：00～）	新 田	伊那中央（診察 9：00～）	新 田
脳神経外科【予約制】		信 大			
外科	久米田 小 出	小 山 小 松 河 西	久米田 小 出	小 山 小 松	小 山 小 松
心臓血管外科		信 大（診察 14：00～）			
整形外科	1,3週 中曽根 政 田	政 田 根 本	中曽根 政 田	中曽根 香 山	政 田
小児科	岩 崎	岩崎（午前・午後）	吉川（午前のみ） 岩崎（午前予約のみ）	井 上（賢）	岩崎（午前のみ） 吉川（午前予約のみ）
小児科		井 上（1ヶ月健診午後）	岩 崎（午後）		吉 川（午後）
眼科【完全予約制】	杉 本（知）	杉 本（知）	杉 本（知）	杉 本（知）	杉 本（知）（第３週休診）
泌尿器科【完全予約制】	杉 本（晃）	杉 本（晃）		信 大（診察 9：00～）	杉 本（晃）
産婦人科【完全予約制】	三 橋	杉 山	三 橋	杉 山	信 大
相談外来【完全予約制】	吉 岡（診察 9：00～）	吉 岡（診察 9：00～）			
助産師外来【完全予約制】				助産師（診察 9：00～）	
麻酔科【予約制】			柴 田		
精神科【予約制】			信 大（診察 10：00～）	田名部（診察 10：00～）	信 大（診察 10：00～）
児童思春期発達外来（毎月１回）【完全予約制】	樋 端（診察 10：00～）				
緩和ケア外来【予約制】					柴田（診察 午前）
耳鼻咽喉科【完全予約制】		信 大（診察 14：00～）		信 大（診察 9：00～）	信 大（診察 14：00～）
皮膚科	信 大（診察 9：00～）		信 大（診察 9：00～）	信 大（診察 9：00～）	
形成外科	1,3週 信大（診察 14：00～）	信 大（診察 14：00～）			
リハビリテーション科（第1・2水曜日）【完全予約制】			昭和伊南 山 口		
歯科口腔外科【完全予約制】	信 大（診察 9：00～）	信 大（診察 10：00～）		信 大（診察 10：00～）	
発熱外来	平日　受付／10：30～11：00（事前の電話連絡は不要）　診療／11：00以降				

◎ 窓口受付時間／８：00～11：00（予約の方、午後診療科の方は、16：00まで）救急の場合はこの限りではありません。
◎【予約制】【完全予約制】と記載されている診療科については、事前に予約をお取りください。
◎【完全予約制】と記載されている診療科では予約なしで来院された場合は当日に診療をお受けいただけないこともありますのでご承知おきください。
◎ 外来の予約・予約変更、外来診療へのお問い合わせ・ご相談のお電話は、緊急の場合を除き、13：00～15：00の時間帯にお願いします。（小児科外来は当面の間、平日9：00～11：00の時間帯にお願いします。）

木曽病院 電話番号　０２６４－２２－２７０３（代表）　木曽病院 ホームページアドレス　https://kiso-hosp.jp